

事業所名： さんごはうす共同作業所

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
<p>【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	a

<コメント>

年齢が65才以上の利用者も、年齢や制度によって通所するところが変わることなく、利用者の意向を尊重して、問題なくさんごはうす共同作業所に通所しています。また一人暮らしがしたいという願いを持つ利用者にも、他の事業所や社会福祉協議会などの情報を伝えながら支援しています。

A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
<p>【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	a

<コメント>

利用者虐待防止のための指針が整備され、それによって虐待防止委員会を開催しています。また人権意識を高める研修会にも積極的に参加し、職員間での情報共有をしています。発達障害の利用者はいますが、身体拘束等の同意書を家族と交わしている利用者はいません。今後さらに、利用者やご家族へ具体的な権利擁護の取り組み状況をお知らせし、理解が深まるよう期待します。

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
<p>【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	b

<コメント>

グループホーム入居者4名は、仲良く良好な人間関係の中で落ち着いて生活しています。グループホームでは、自分たちで生活のルールを決めることができおり、職員の利用者への支援も適切に行われています。高齢の利用者で、家族はいるが一人暮らしを希望している利用者もいるので、家族の考えも聞きながら、今後の支援を検討しています。

<p>【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	b
--------------------------------------------------------------------	---

<コメント>

利用者の中には突然に怒ったり、泣いたりする方もいるので、利用者の気持ちに寄り添って「何故かな？」と考えながら支援をしています。職員と利用者との認識のずれがある場合があるので、お話をしたり様子を見たり、分かったことを返しながらい丁寧な支援をしています。利用者同士で問題を解決できる場合や、問いかけすると言わない利用者もいるので利用者からの意思表示を待つなど、利用者の状況に応じてコミュニケーションの方法を工夫しています。

<p>【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	a
----------------------------------------------------------	---

<コメント>

毎日の終業ミーティングなどで、利用者の個別の対応については適切に情報共有がされています。自分の意志で空き家を探し、一人で生活できている利用者もいるので、支援する側の思い込みで判断しないように心がけています。将来の希望について「一人暮らし」を話題にしても、利用者と家族の意見や思いに違いがあったり、相談支援事業所と作業所で、違う内容を相談することもあるので、利用者の意思を丁寧に把握するよう対応しています。

【A6】 A-2-(1)-④
個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。

b

<コメント>

個別支援計画に基づき、日々の活動をホワイトボードで分かりやすく表示して情報共有しています。作業所でのレクリエーションやグループホームでの余暇活動等は、利用者の意向に基づいて行なわれています。利用者の自治会活動など、今後の取り組みに期待します。

【A7】 A-2-(1)-⑤
利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。

b

<コメント>

周辺の方の行動に気を付けることが出来ない利用者ために、施設内の死角になる所では、一時停止(とまって)と床に表示するなど利用者の障がいに配慮しています。また、聴覚障がいや周囲の人や音に敏感な利用者には、すこし離れて作業をしてもらうなど工夫をしています。発達障害についての理解を深めるために、研修に参加し、他の職員へも情報共有が行われています。

A-2-(2) 日常的な生活支援

第三者評価結果

【A8】 A-2-(2)-①
個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。

a

<コメント>

身体的に重度な利用者がいないので、グループホームでは世話人が献立を考え利用者からのリクエストもメニューに入れながら支援しています。また、利用者が安心して生活できており、世話人とのコミュニケーションもうまくできています。休日には、世話人と一緒に買い物に行くなど、暮らしを楽しんでいます。

A-2-(3) 生活環境

第三者評価結果

【A9】 A-2-(3)-①
利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。

a

<コメント>

新築のグループホームは、周辺の環境も良好で、日当たりにも配慮した造りになっており、施設内は清潔感があり落ち着いた雰囲気となっています。居室は、個室で快適に過ごすことができます。また、リビングには監視カメラシステムがあり、作業所のパソコン確認できるようになっていて、緊急時の対応も考えられています。

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

第三者評価結果

【A10】 A-2-(4)-①
利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。

b

<コメント>

ダウン症の利用者が「関節が痛い。」との訴えがあるので作業時等に無理をさせないように気を付けています。また、自閉症の利用者が指圧の指導を受けるなど機能・生活訓練の配慮をしています。

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b
<コメント>	
医療生活協同組合が行っている健康チェックを受け、異常があれば検査をしています。精神保健衛生の市単独事業で保健師（ボランティアで顔なじみ）が3ヶ月毎に健康相談に来るなど、利用者の健康状態に配慮しています。近隣の医療機関と連携を取って対応する体制になっています。	
【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	非該当
A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<コメント>	
文化活動やスポーツ活動などの情報提供は行っているが、利用者の多くは休日は家族と過ごしているので十分な支援がしにくくなっています。11月に幡多圏内のスポーツ大会があり、継続的に参加しています。またグループホームでは、世話人と一緒に外出するなど地域社会との関わりの機会を増やすよう配慮しています。	
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b
<コメント>	
一人暮らしがしたいという利用者があるので、「自分でできることを増やす。」ということを目指して、「ご飯が炊くことが出来たら、おかずは買ってきたら食事ができる。」等、少しずつ自信をもって生活するために必要な方法を伝えています。視覚障害の利用者は、一人で白杖を持って外出できるようになりました。さらに、拡大鏡を使って生活の中を広げる機会を増やすよう支援しています。	
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b
<コメント>	
個別支援計画の策定については、6ヶ月毎に担当国会議を持ち利用者、ご家族の意向を聞いたり情報共有をしていますが、必要な時には個別に意見交換をする機会を持つようにしています。2か月おきに作業所の様子を知らせる通信を発行していますが、保護者から利用者の様子について知りたいという希望も寄せられています。さらに利用者家族の知りたい情報を分かりやすく伝える機会を増やすことを期待します。	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	第三者評価結果
【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	非該当

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b

<コメント>

施設外の就労では委託事業（公園清掃、草刈り、お墓掃除）、喫茶店、施設内ではアルミ缶洗い、卵洗いと卵販売、商品のタグ作り等取り組んでいます。近年、市からの委託仕事が多くなっており、特にお墓掃除は需要が多くなると予想され、利用者の働く機会を増やすよう取り組んでいます。また、公園での清掃ではボランティアさんの活躍で、夏は暑いので大変ですが、利用者は休憩時間にボランティアさんと楽しく交流し、ボランティアの方たちもやりがいを感じてもらっています。

【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	b
------------------------------------------------------	---

<コメント>

利用者にも分かりやすく説明できるように、利用者工賃を数字で見える化しており、毎日かかわった仕事を個別に点数にしてパソコンで集計処理しています。また、利用者への褒章制度を明文化しており、利用者が目標を持って仕事に取り組めるよう工夫しています。

【A19】 A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b
----------------------------------------------------	---

<コメント>

施設外で委託訓練している利用者もあり、障害者雇用で働いている方は、一人暮らしをしています。一般就労した後うつ状態になり、共同作業所に戻った方もいます。コロナ感染時には退所したり、転居した方もいました。利用者一人ひとりの希望や身体状況にあわせて、個別柔軟に就労・定着の支援を行っています。